

- 問1 日本の景気が過熱して物価が上がりすぎる（インフレーション）恐れがあるとき、政府が景気を抑制するためにとる「財政政策」として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 長野県公立入試 類似）
1. 日本銀行を通じて市場の通貨量を増やし、金利を低下させる
 2. 公共事業を抑制し、増税によって社会全体の需要を抑える
 3. 日本銀行を通じて市場の通貨量を減らし、金利を上昇させる
 4. 公共事業を拡大し、減税によって社会全体の需要を増やす
- 問2 消費税が課される商品の価格表示において、税抜価格が200円の商品に8%の消費税が適用され、税込価格が216円として販売される仕組みについて、正しく述べたものを選びなさい。（2016年 長崎県公立入試 類似）
1. 税率に関わらず、端数を切り捨てて計算することが法律で義務付けられている。
 2. 製造にかかったコストに、流通経費として一律8%を上乗せして税込価格としている。
 3. 商品の重さや量に応じて税額が決まるため、1リットルの場合は一律で16円が加算されている。
 4. 税抜価格に、その8%分にあたる金額を消費税として加算して税込価格を算出している。
- 問3 国が医療や年金、介護などの社会保障サービスを手厚く提供し、国民の生活を広く支えようとする政策をとる場合、その財源を確保するための「負担」と「給付」の関係について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。（2024年 山梨県公立入試 類似）
1. 税金や社会保険料による国民の負担を増やし、社会保障の給付水準も高く維持する。
 2. 税金や社会保険料による国民の負担を減らし、社会保障の給付水準を高く維持する。
 3. 税金や社会保険料による国民の負担を減らし、社会保障の給付水準も低く抑える。
 4. 税金や社会保険料による国民の負担を増やし、社会保障の給付水準を低く抑える。
- 問4 消費税は、所得の少ない人ほど所得に占める税負担の割合が高くなる「逆進性」という性質を持つとされています。この逆進性が生じる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）
1. 消費税が間接税であることにより、商品の流通段階で税金が重複して加算され、最終的な価格が上昇する傾向にあるため。
 2. 低所得者ほど収入の多くを生活必需品などの消費に回さざるを得ず、所得に対する支出の比率が高くなるため。
 3. 所得税において採用されている累進課税制度が、消費税の納税額を計算する際の基準として影響を及ぼしているため。
 4. 高所得者ほど高級な品物を多く購入するため、結果として支払う税金の総額が低所得者よりも大きくなるため。
- 問5 日本の租税制度における消費税の仕組みと性質について、納税者と担税者の関係、および所得階層ごとの負担割合の観点から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2020年 福島県公立入試 類似）
1. 税を納める義務がある者と実際に負担する者が一致する直接税であり、所得が高い人ほど所得に対する税負担の割合が高くなる性質を持つ。
 2. 税を納める義務がある者と実際に負担する者が一致する直接税であり、所得が低い人ほど所得に対する税負担の割合が高くなる性質を持つ。
 3. 税を納める義務がある者と実際に負担する者が異なる間接税であり、所得が高い人ほど所得に対する税負担の割合が高くなる性質を持つ。
 4. 税を納める義務がある者と実際に負担する者が異なる間接税であり、所得が低い人ほど所得に対する税負担の割合が高くなる性質を持つ。
- 問6 租税の分類と仕組みについて述べた次の文のうち、間接税の説明として最も適切なものはどれか。（2019年 岡山県公立入試 類似）
1. 納税者が自分の所得額を直接申告し、それに応じた税額を自分自身で納付する仕組み。
 2. 所得が高くなるにつれて段階的に高い税率が適用され、貧富の差を是正しようとする仕組み。
 3. 国ではなく、居住している都道府県や市区町村に対して直接納める義務がある税の仕組み。
 4. 商品の購入価格に税が含まれており、消費者が負担した税を事業者がまとめて納付する仕組み。
- 問7 景気が後退し不景気となった局面において、政府が景気の安定を図るために実施する財政政策の内容として、最も適切なものはどれですか。（2016年 高知県公立入試 類似）
1. 減税を実施することで家計や企業の自由に使える資金を増やし、消費や生産を拡大させる
 2. 増税を実施することで政府の税収を増やし、公共事業の規模を縮小させて景気の過熱を抑える
 3. 減税を実施することで通貨の流通量を抑え、物価が急激に上昇するのを防ぐ
 4. 増税を実施することで家計の消費を抑制し、将来の不況に備えて貯蓄を促す
- 問8 主要な国々の社会保障支出と国民負担の関係を比較したとき、スウェーデンやフランスといった国々に共通して見られる、日本やアメリカ合衆国と比較した際の特徴として適切なものを選んでください。（2019年 熊本県公立入試 類似）
1. GDPに占める社会保障支出の割合も国民負担率も、調査対象国の中で最も低いグループに属している。
 2. GDPに占める社会保障支出の割合が日本より高く、国民負担率も高い水準にある。
 3. 社会保障支出の割合はアメリカ合衆国と同程度だが、国民負担率は極めて低い。
 4. 国民負担率は日本と同程度であるが、社会保障支出の割合が極端に低い。
- 問9 日本の人口構成において、15歳から64歳の生産年齢人口が急減する一方で、65歳以上の高齢者が増加し続けている現状が社会保障制度に与える影響として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 和歌山県公立入試 類似）
1. 少子化の影響で将来的な労働力不足が解消されるため、社会保障を支える財源が以前より豊富になる。
 2. 現役世代の人数が増えることで税収が安定し、一人あたりの社会保障負担額が大幅に軽減される。
 3. 現役世代の人数が減る一方で給付を受ける高齢者が増えるため、現役世代一人あたりの負担が重くなる。
 4. 高齢者人口の増加に伴って社会保障給付費の総額が自然に減少するため、財政の健全化が進む。
- 問10 日本の社会保障制度は「社会保険」「公的扶助」「社会福祉」「公衆衛生」の4つの柱から成り立っています。このうち「社会保険」が、全額公費（税金）でまかなわれる生活保護などの「公的扶助」と制度の仕組みにおいて大きく異なる点はどこにありますか。（2022年 香川県公立入試 類似）
1. 国や地方公共団体の予算のみを財源とし、国民が事前に費用を負担しない点。
 2. 生活に困窮している人だけを対象に、最低限度の生活を保障することを目的とする点。
 3. 感染症の予防や環境衛生の改善など、地域全体の安全を確保することを主目的とする点。
 4. 受益者となる労働者やその事業主が、あらかじめ保険料を出し合って財源を確保する点。
- 問11 日本の公的年金制度において、2000年から2020年にかけての人口推移を反映した現状を説明したものとして最も適切なものはどれか。なお、この期間において、保険料を支払う20歳以上60歳未満の世代は約6800万人から6000万人程度まで減少する一方、年金を受け取る65歳以上の世代は約2200万人から3600万人を超える規模まで急増しているものとする。（2024年 奈良県公立入試 類似）
1. 保険料を支払う負担者が減少する一方で、年金を受け取る受給者が増加しているため、現役世代一人ひとりの負担が重くなっている。
 2. 年金を受け取る受給者が減少する一方で、保険料を支払う負担者が増加しているため、制度の財政基盤は以前よりも安定している。
 3. 受給者が増加し、負担者もそれに比例して増加しているため、人口構成の変化が一人あたりの負担額に与える影響は見られない。
 4. 負担者と受給者の双方が減少しているため、年金制度の規模そのものが縮小し、社会保障費全体の抑制につながっている。
- 問12 間接税の一種である「消費税」の仕組みや性質について述べた文として、正しいものはどれか。（2016年 香川県公立入試 類似）
1. 納税者が自分の所得や経費を計算し、税務署に対して自己申告することで税額が決定する。
 2. 景気の変動によって税収が激しく増減しやすいため、国の財政において最も不安定な財源である。
 3. 消費者が商品を購入する際に支払った税金を、事業者が消費者に代わって国や地方自治体に納める。
 4. 所得が高くなるほど税率も高くなる「累進課税」の仕組みが取り入れられている。